

月のえくぼを見た男

麻田剛立

鹿毛敏夫作 関谷敏隆絵 くもん出版

月面のクレーターの一つ一つには、偉大な天文学者や科学者の名前がつけられています。「アサダ」というクレーターの名前の由来は、江戸時代の医師で天文学者の麻田剛立。幼いころから空を見ることが好きだった剛立が、十四歳のときに望遠鏡をのぞいて写した月の図は、日本最古の月面観測図となっています。

かれ彼を天体観測に熱中させたのは何だったのでしょうか。多くの人びとから支えられ、天文学に情熱的に取り組んだ剛立の生涯を、豊富な資料をもとに描いた一冊。

